

令和4年度補正予算国連人口基金（UNFPA）案件引渡式への出席 令和6年7月29日

2024/07/29

令和6年7月29日、西牧大使は国連人口基金（UNFPA）ナミビア事務所が実施している日本補正予算案件「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳、の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」の下、総額211,634米ドルに相当する医療機材、移動式診療車、生理用ナプキンの引渡式を実施しました。

供与された医療機材は保健・社会サービス省に、移動式診療車は市民社会組織の代表としてナミビアの青少年支援に取り組むワンエコノミー財団（One Economy Foundation）に、生理用ナプキンは教育・芸術・文化省にそれぞれ供与されました。



写真：引渡式の様子（会場：保健・社会サービス省）

（左より）ギブンジワ保健・社会サービス省副次官、ニーポンドカ教育・芸術・文化大臣、ガイ
ンゴス前大統領夫人（ワンエコノミー財団会長兼創設者）、西牧大使、ウシウア・ムイニヤングエ
保健・社会サービス副大臣、ゴールドソン UNFPA ナミビア事務所代表

当地ナミビアン・サン紙によるビデオレポートは以下のリンクをご参照ください。

https://fb.watch/tVx4DH_Kma/

（写真提供：UNFPA）



写真（上）：西牧大使からウシウア・ムイニヤング保健・社会サービス副大臣に対して、医療機材が供与されました。供与された医療機材には、キャスター付きベッドスクリーン 67 点、心電図装置 15 点、病床スクリーニング用婦人科ソファー 8 点、胎児心拍検出モニター 6 点、天秤付き成人医師用体重計 6 点、付き成人用体重計 6 点、超音波スキャナーモバイル 3 点などが含まれています。

写真（下）：西牧大使からニーポンドカ教育・芸術・文化大臣に対して、コマス州、クネネ州、オムサティ州、オハングウェナ州、ザンベジ州、エロンゴ州の小中学校に通う 6,000 人の脆弱な立場に置かれたの思春期の少女たちのための生理用ナプキンが寄贈されました。





写真（上）： 供与された移動式診療車の鍵を西牧大使から受け取るモニカ・ガインゴス夫人（ワンエコノミー財団会長兼創設者 / 第3代ナミビア大統領夫人）

写真（下）： 供与された完全装備の移動式診療車は、ワンエコノミー財団やその他の市民社会組織の能力を強化し、脆弱な立場に置かれ十分なサービスを受けていないコミュニティの性と生殖に関する健康（SRH）、ジェンダーに基づく暴力（GBV）の予防及び対応、妊産婦の保健サービスへのアクセスの向上のために活用されます。



（写真提供：UNFPA）